

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（血液など）や診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用 目的及び利用方法	<p>研究の名称 生活習慣病から見た大腸癌症例の検討</p> <p>研究の対象 2008年1月より2013年12月に当院第二外科で大腸癌に対し大腸の切除を行った患者様</p> <p>研究の目的 本邦における大腸癌患者数は年々増加してきており男女合わせて悪性疾患の罹患率第2位(平成25年)、死因第2位(平成28年)である。比較的早期の段階で発見されたStage ⅰであれば5年生存率は90%以上を期待できるものの、リンパ節転移を認めるStage ⅱまで進行している場合、5年生存率はそれぞれ77.7%、60.0%と低下してしまう。第一選択である手術療法に術後補助化学療法を加えることで再発の予防に務めているものの、高齢、基礎疾患、有害事象などのために全員が満足に補助化学療法の恩恵を受けることはできないのが現状である。 一方で生活習慣病と大腸癌の予後の関わりも着目されつつあり、中国の報告ではメタボリックシンドローム患者では大腸癌術後の予後が低下するという報告がある一方で、本邦では肥満患者は予後が良いという報告もある。 本研究では当院第二外科でStage ⅰからⅱの大腸癌に対し手術を行った症例に関して肥満に加え、高血圧症、糖尿病、高脂血症など生活習慣病に関わる因子をもとに比較することで生活習慣病と大腸癌の予後との関わりを明らかにする。</p> <p>研究の期間 倫理委員会承認日から2022年3月31日</p> <p>他の機関に提供する場合には、その方法 学会発表や論文として投稿する場合を除き、他の機関に情</p>
----------------------	--

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

	報は提供しません。
利用し、又は提供する試料・情報の項目	研究に使用する試料・情報： 情報：5年生存率、5年無再発生存率、腫瘍部位、進行度、転移浸潤、病理学的所見、生年月日、年齢、性別、既往歴、身長、体重、BMI、血液検査、内視鏡検査、画像検査、治療経過、化学療法、放射線療法の有無、病期分類、家族歴、等
利用する者の範囲	共同研究機関の名称及び研究責任者 共同研究機関はございません。
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	研究責任者 浜松医科大学 外科学第二講座 診療助教 山本真義
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）	あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話、またはメールでお願いします。
資料の入手または閲覧	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
情報の開示	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。
問い合わせ先	〒431-3192

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

	<p>浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院 診療科：外科学第二講座 担当者：鈴木雄飛 TEL：053-435-2279 (平日 8:30-17:00) 053-435-2695 (夜間, 休日) FAX：053-435-2273 E-mail：d17018@hama-med.ac.jp</p>
--	---